

長柄小だより

考えて行動できる子
～自立・創造
しなやかな心～

令和6年度 第15号
2025年2月27日
葉山町立長柄小学校
校長 長谷川 泰子
TEL 046-875-6860

令和6年度 学校評価アンケート

			児童	保護者	教職員
1	能力・資質 について	自分の気持ちをコントロールすることができていると思う。	3.25	3.21	2.81
2		自分で考えて決めることができていると思う。	3.29	3.18	2.77
3		もっと成長しようと思えることができていると思う。	3.42	3.34	3.08
4		主体的に学び続けることができていると思う。	3.2	3	2.99
5		困難や挫折に負けずに、粘り強く取り組むことができていると思う。	3.17	3.01	2.46
6		「どうして、なぜ」と考えたいことを見つけられできていると思う。	3.33	3.03	2.7
7		調べたことをつかって考えることができていると思う。	3.38	3.38	3.12
8		自分の考えを他の人に伝えることができていると思う。	3.17	3.05	2.95
9		新しいことにチャレンジすることができていると思う。	3.38	3.01	2.98
10		地域や学校、学級を良くするためになにをすべきか考えることができていると思う。	2.88	2.71	2.77
11		友だちと協力して取り組むことができていると思う。	3.54	3.45	3.35
12		まわりの人のことを考えて行動することができていると思う。	3.31	3.35	2.96
13		自分と違うところがある人ともわかり合おうとすることができていると思う。	3.33	3.3	3.13
14		思ったとおりにはいかないときは、他の方法を考えることができていると思う。	3.26	2.92	2.65
15		正しい情報を見分けることができていると思う。	3.13	2.75	2.71
学校生活であなたが感じている気持ちについてお聞きします。当てはまるものを1つ選んでください。			児童	保護者	教職員
16	学校では	幸せな気持ちになることはどれくらいありますか。	3.23		3.27
17		楽しいと感じることはどれくらいありますか。	3.44		3.56
18		何かにイライラすることはどれくらいありますか。	3.01		2.29
19		不安な気持ちや心配な気持ちになることはどれくらいありますか。	2.62		2.43
20		自分でものごとを考えて決めることはどれくらいありますか。	3.17		2.96
21		自分の意見を人に伝えることはどれくらいありますか。	3.17		3.17
			児童	保護者	教職員
22	家庭では	幸せな気持ちになることはどれくらいありますか。	3.75	3.74	
23		楽しいと感じることはどれくらいありますか。	3.75	3.73	
24		何かにイライラすることはどれくらいありますか。	2.81	3.01	
25		不安な気持ちや心配な気持ちになることはどれくらいありますか。	2.26	2.45	
26		自分でものごとを考えて決めることはどれくらいありますか。	3.22	3.33	
27		自分の意見を人に伝えることはどれくらいありますか。	3.17	3.64	
			児童	保護者	教職員
28	友人・クラスメートの 前では	幸せな気持ちになることはどれくらいありますか。	3.73		
29		楽しいと感じることはどれくらいありますか。	3.83		
30		何かにイライラすることはどれくらいありますか。	2.48		
31		不安な気持ちや心配な気持ちになることはどれくらいありますか。	2.22		
32		自分でものごとを考えて決めることはどれくらいありますか。	3.09		
33		自分の意見を人に伝えることはどれくらいありますか。	3.28		

あてはまる
4 点

ややあてはまる
3 点

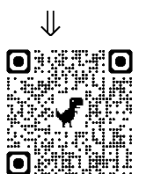
あまり
あてはまらない
2 点

あてはまらない
1 点
とし、

中央値2.5点
として点数化し
ています

お知らせ

学校運営
協議会
HP です



子どもの姿をもとに、学校の教育を見直していく新しい試みとして今年度初めて取り組みました。学校の経営そのものにご意見をいただく設問については来年度以降補足が必要と感じていますが、今年度は子どもの姿を「子ども自身」「保護者」「教職員」がどのようにとらえているかという視点で取り組みました。

学芸大の研究チームの方々と第1段階として印象の域ではありますが分析をしましたので、結果をお知らせします。今回の調査は非認知能力とウェルビーイング(その人自身が感じる幸せや満足感)の関係の中から学校現場におけるエージェンシー(変化を起こすために、自分で目標を設定し、振り返り、責任をもって行動する能力)を見取することを目的として行いました。本校の教育目標である「考えて行動できる子」とエージェンシーを探るこの調査は、本校が掲げる15の資質能力との関連性を明らかにする上でも大変参考になったと考えています。

- ・長柄小学校の児童は、非常に成長意欲が高い。
- ・他者への協力意識が強く、学年が上がるにつれてその傾向が強くなる。意識の強さは家庭や友人関係の中で特に高い傾向がみられる。
- ・学校や家庭においてイライラを感じる児童も一定数いるが、これは成長に必要な葛藤をきちんと持っている」と読み取ることもできる。
- ・自己決定の機会が非常に多い。
- ・女子児童の方が学校や友人関係に対する不安や心配を感じやすい傾向があり、満足度は男子児童の方が高い
- ・非認知能力については保護者の評価が非常に高く、教職員の方が厳しめ。まだ伸びる余地があると期待している教職員の姿が想像できる。
- ・保護者に特有な結果としては、児童のネガティブ感情に心配を抱いている割合が高い。
- ・家庭が非常に満足で幸せな印象が強い。